

工事店様用

全量買取向け

ZMPMC

エコめがね

モバイルパックマルチコネク

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナ-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

Huawei 製 パワーコンディショナ 及び 「SmartLogger1000」併設用 Ver1.3

SV センサ設定ツール 設定内容	
<PCS メーカー>	Huawei(SmartLogger)
<PCS 型式>	「SUN2000-8-28KTL (8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)」
対象型式：	SUN2000-17KTL
SUN2000-8KTL	SUN2000-20KTL
SUN2000-10KTL	SUN2000-23KTL
SUN2000-12KTL	SUN2000-24.5KTL
SUN2000-15KTL	SUN2000-28KTL

<注意>

本マニュアルは、SmartLogger1000 を併設してのご利用を前提としております。

また、パワーコンディショナに関してはファームウェアが「V100R001C81SPC109」以降のものであることを確認する必要があります。「V100R001C81SPC108」以前のファームウェアでは、モバイルパックマルチコネクをご利用いただけません。

※「V100R001C81SPC108」以前のファームウェアである場合、アップグレードを行うことで対応可能となります。アップグレード方法の詳細については、パワーコンディショナの製造元にお問い合わせください。

注意事項

パワーコンディショナ、SmartLogger についての詳細な手順は、パワーコンディショナ、SmartLogger 付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、メーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、SmartLogger 等の周辺機器の故障や異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

エコめがねモバイルパックマルチコネクタ（以下 モバイルパックMC）をご利用いただくにあたって、「SmartLogger - SV センサ間通信ケーブル」を作成・施工いただく手順を記載しています。

モバイルパックMCは、利用する通信回線が3Gか4Gかにより手順が異なります。以下の通りそれぞれ区別して記載しますので、該当の商品の手順をご参照ください。

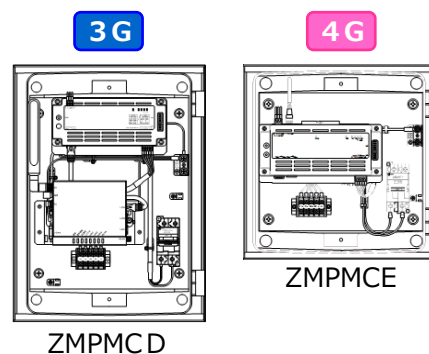
3G 3G ルータ搭載型。商品型式*ZPMCDのもの。

4G 4G通信機能付きSVセンサ搭載型。

商品型式 ZPMCE 以降のもの。

*商品型式は、商品外装箱に記載されています。

商品型式 ZPMCE のSVセンサは通信機能を有しているため、ボックス内にルータは搭載されていません。



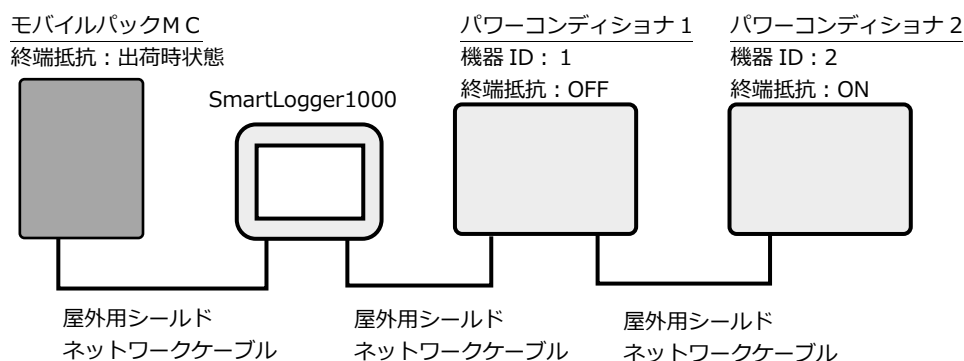
2. システム構成

以下に、パワーコンディショナのシステム構成例を記載します。

SmartLogger1000 を使用しない場合は、機器構成、準備物、設定等が異なりますのでご注意ください。

*型式によってパワーコンディショナの接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認ください。https://www.eco-megane.jp/mc_pcs/

● SmartLogger1000 の併設あり、SUN2000-24.5KTL 2 台接続時 構成例



3.SmartLogger – SV センサ間通信ケーブルの用意

3-1.準備部材・工具

●部材 (SmartLogger – SV センサ間通信ケーブル用)

部材名	サイズ・規格	数量
屋外用シールドネットワークケーブル	カテゴリ 5 以上、ストレート	1 本

●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
ケーブル・ピーラー	-	1

<参考>

パワーコンディショナ間通信ケーブル、パワーコンディショナ-SmartLogger 間通信ケーブルの部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブル、パワーコンディショナ-SmartLogger 間通信ケーブルに必要な部材については以下に記載します。

パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認ください。

部材名	サイズ・規格	数量
屋外用シールドネットワークケーブル	カテゴリ 5 以上、ストレート	(PCS 台数)本

4.ケーブルの取付け方法

<注意>

機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

項目 3-1 で準備したケーブルで、モバイルパックMCと SmartLogger1000 の FE ポートを接続してください。

モバイルパック MC 内の接続ポートは下表の通りです。

No.	モバイルパック MC 種別	商品型式*	接続機器	ポート名
1	3G 3G ルータ搭載型	ZMPMCD	3G ルータ	LAN 2 (空きポート)
2	4G 通信機能付き SV センサ搭載型	ZMPMCE 以降	SV センサ	LAN A (空きポート)

※ 商品型式は、商品外装箱に記載されています。

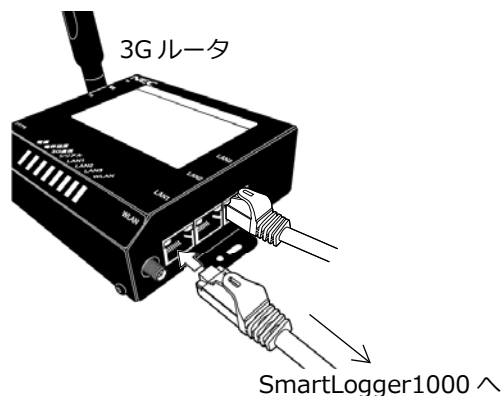
商品型式 ZMPMCE の SV センサは通信機能を有しているため、ボックス内にルータは搭載されていません。

3G ルータ搭載型のモバイルパック MC をご利用の場合は、必ず 3G ルータの LAN ポートと SmartLogger1000 を接続してください。

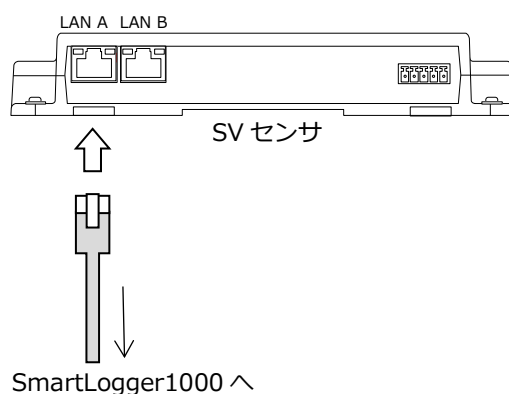
SV センサと 3G ルータをつないでいる LAN ケーブルは抜かないでください。

●接続イメージ図

- ・3G ルータの LAN ポートに LAN ケーブルをつなぐ場合 (ZMPMCD) **3G**



- ・SV センサの LAN ポートに LAN ケーブルをつなぐ場合 (ZMPMCE 以降) **4G**

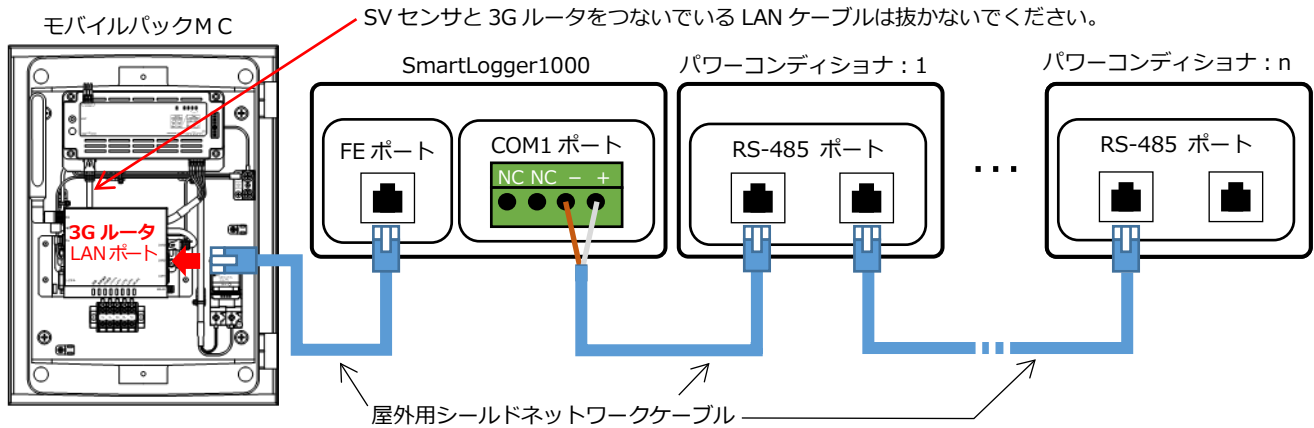


4. ケーブルの取付け方法 (つづき)

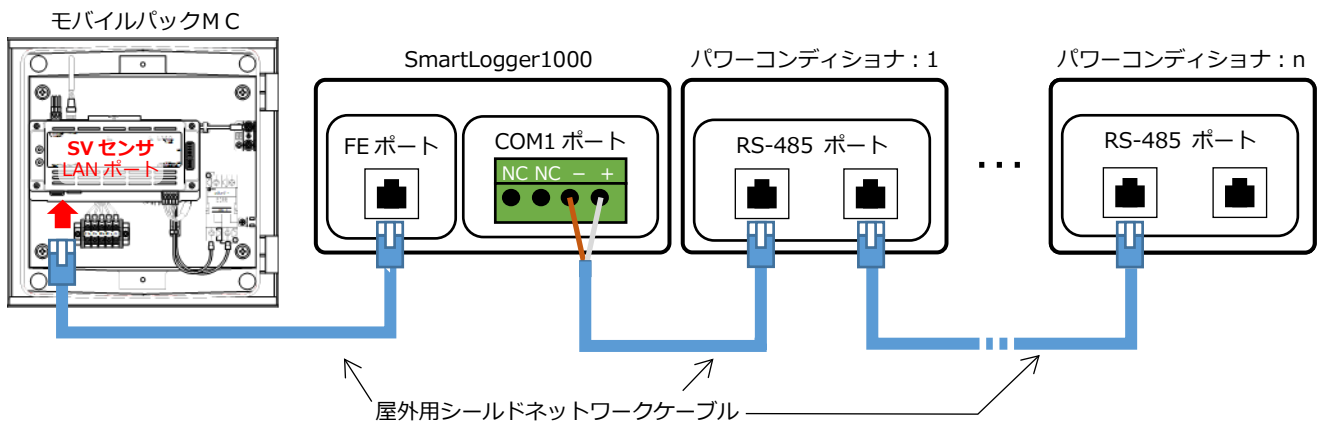
● ケーブル取付け全体図

(通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めします)

・ 3G ルータ搭載型モバイルパック MC (ZMPMCD) 3G



・ 通信機能付き SV センサ搭載型モバイルパック MC (ZMPMCE 以降) 4G



<参考>パワコンディショナ - SmartLogger 間通信ケーブルの結線について

パワコンディショナ - SmartLogger 間通信ケーブルの接続については、パワコンディショナ、SmartLogger1000 の施工・保守マニュアル等もご確認ください。

● 結線対応表

SmartLogger1000 COM1ポート	屋外用シールド ネットワークケーブル	
信号名	配線色※	機能
+	1 (白/橙)	差動信号+
-	2 (橙)	差動信号-

※配線色は B タイプのネットワークケーブルを使用した場合です。

5.その他

5-1.パワーコンディショナのファームウェアバージョンの確認

パワーコンディショナに同梱されているユーザーマニュアルに従って、パワーコンディショナのファームウェアバージョンを確認してください。

ファームウェアのバージョンは、パワーコンディショナの LCD もしくは SmartLogger にて確認することが出来ます。

モバイルパックマルチコネクタが対応可能かどうかについては、パワーコンディショナの**ファームウェアバージョン(英数字)の“SPC”前の数字 2 桁と末尾数字 3 桁**で確認することが出来ます。

V100R001C81SPC109

バージョン情報 2
バージョン情報 1

バージョン情報 1… 数字 2 桁。ファームウェアにて大規模の更新がされると加算される。

バージョン情報 2… 数字 3 桁。ファームウェアにて小規模の更新がされると加算される。

また、バージョン 1 の数字が加算された場合は 000 にリセットされる。

●V100R001C81SPC109 以降の場合：

⇒モバイルパックマルチコネクタで対応可能です。

そのまま「5-2. 終端抵抗の設定」に進んでください。

●V100R001C81SPC108 以前の場合：

⇒パワーコンディショナのファームウェアアップグレードが必要です。

アップグレードの方法については、パワーコンディショナの製造元にお問い合わせいただき、最新のファームウェアにアップグレードしてください。

アップグレード後、「5-2. 終端抵抗の設定」に進んでください。

例：

「V100R001C81SPC112」、 「V100R001C82SPC002」 ⇒対応可能

「V100R001C80SPC120」、 「V100R001C81SPC108」 ⇒アップグレードが必要

5.その他 (つづき)

5-2.終端抵抗の設定

パワーコンディショナの整合抵抗を設定してください。

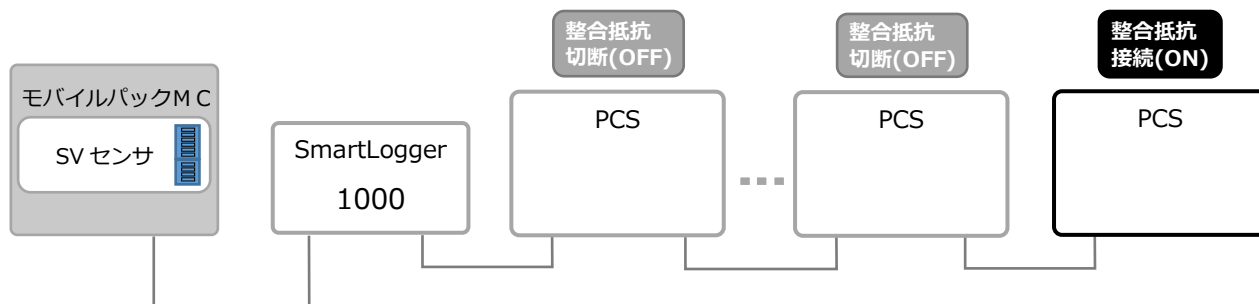
●パワーコンディショナ：

通信線上の終端にある 1 台のパワーコンディショナの整合抵抗を「接続」(ON)に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの整合抵抗は、「切断」(OFF)に設定してください。具体的な整合抵抗の設定方法については、パワーコンディショナのユーザーマニュアルを参照してください。

●モバイルパック MC、SmartLogger1000：

終端抵抗の設定変更は必要ありません。

●終端抵抗・整合抵抗の設定



5.その他 (つづき)

5-3.アドレス(局番)の設定

パワーコンディショナのユーザーマニュアルに従い、パワーコンディショナのアドレス(局番)を1～9の範囲で設定してください。

5-4.SmartLogger1000の通信設定(ネットワーク設定)

SmartLogger1000の施工・保守マニュアル等に従い、ネットワーク設定作業(以下の①、②)を実施してください。

●設定手順：ZMPMCDの場合 **3G**

① SmartLogger1000の初期化パラメータの設定

※初回電源投入直後の設定方法を以下に記載します。既に一度初期設定を行われた場合は、ユーザーマニュアルに従って該当する項目の設定を行ってください。

1. SmartLogger1000の起動
2. 表示言語を「日本語」で選択する。
3. 日付と時刻を設定する。
4. イーサネットパラメータを設定する。

パラメータは以下で設定する。

IPアドレス：**192.168.1.20**

サブネットマスク：**255.255.255.0**

ゲートウェイ：**192.168.1.1**

DNS-1：**8.8.8.8**

DNS-2：**8.8.4.4**

5. RS485検索アドレス・セグメントを設定する。

※RS485-1のアドレス・セグメントの範囲が、パワーコンディショナで設定したアドレス範囲となるように設定してください。

例：001-010

6. デバイスの検索を実施する。

② SmartLogger1000の設定変更(つづき) ※①に続いて設定してください。

1. メインメニューで「設定」を選択し、上級ユーザでログインする。
2. 「一般設定」を選択する。
3. 「Modbus TCP」を選択する。
4. クライアント1に、IPアドレス「**192.168.1.101**」を設定する。
5. アドレスモードを「**物理アドレス**」に設定する。

5.その他（つづき）

5-4.SmartLogger1000の通信設定(ネットワーク設定)（つづき）

●設定手順：ZMPMCE以降の場合 **4G**

① SmartLogger1000の初期化パラメータの設定

※初回電源投入直後の設定方法を以下に記載します。既に一度初期設定を行われた場合は、ユーザーマニュアルに従って該当する項目の設定を行ってください。

1. SmartLogger1000の起動
2. 表示言語を「日本語」で選択する。
3. 日付と時刻を設定する。
4. イーサネットパラメータを設定する。
パラメータは以下で設定する。
IPアドレス：**192.168.1.20**
サブネットマスク：**255.255.255.0**
ゲートウェイ：**192.168.1.101**
DNS-1：**8.8.8.8**
DNS-2：**8.8.4.4**
5. RS485検索アドレス・セグメントを設定する。
※RS485-1のアドレス・セグメントの範囲が、パワーコンディショナで設定したアドレス範囲となるように設定してください。
例：001-010
6. デバイスの検索を実施する。

② SmartLogger1000の設定変更(つづき) ※①に続いて設定してください。

1. メインメニューで「設定」を選択し、上級ユーザでログインする。
2. 「一般設定」を選択する。
3. 「Modbus TCP」を選択する。
4. クライアント1に、IPアドレス「**192.168.1.101**」を設定する。
5. アドレスモードを「物理アドレス」に設定する。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6番18号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。